

令和6年度 八戸市総合教育センター運営協議会会議録

日時：令和6年11月5日（火）15：00－16：30

場所：八戸市総合教育センター 第1研修室

出席委員：12名

川上委員、三角委員、伊崎委員、島浦委員、蔦川委員、淡路委員、本井委員、岩織委員、加藤委員、増田委員、高畑委員、千葉委員

事務局：11名

齋藤教育長、寺井次長、佐藤総合教育センター所長、松橋総合教育センター副所長、石井主任指導主事、青木主任指導主事、佐々木主任指導主事、馬渡主任指導主事、小向主任指導主事、西村主任指導主事、乙山主任指導主事

会議内容：下記のとおり

（事務局：松橋）

本日はお忙しいところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。本日の進行を担当します当センター副所長の松橋です。よろしくお願いいたします。

それでは、ただ今より「令和6年度八戸市総合教育センター運営協議会」を開催いたします。

まず、はじめに、齋藤教育長が運営協議会委員の皆様へ委嘱状を交付いたします。

委員の皆様のお名前を、順にお呼びいたします。名前を呼ばれましたら、その場にお立ちください。

八戸市連合父母と教師の会	代表	川上敦史（かわかみ あつし）様
八戸市小学校長会	代表	三角浩司（みすみ こうじ）様
八戸市中学校長会	代表	伊崎己治（いさき こじ）様
八戸市小学校教育研究会	代表	島浦 靖（しまうら やすし）様
八戸市中学校教育研究会	代表	蔦川 誠（つたかわ まこと）様
八戸市小学校教頭会	代表	淡路浩志（あわじ ひろし）様
八戸市小学校教務主任会	代表	本井浩義（もとい ひろよし）様
中学校 研修主任	代表	岩織安香（いわおり やすか）様
八戸市中学校教育研究会理科教育研究会	代表	加藤彩子（かとう あやこ）様
八戸市中学校教育研究会視聴覚教育研究会	代表	増田恒司（ますた こうじ）様
八戸市教科等研究委員	代表	高畑和子（たかはた わこ）様
八戸市中学校教育研究会英語教育研究会	代表	千葉奈緒美（ちば なおみ）様

本日は、委員の皆様を代表いたしまして、八戸市連合父母と教師の会 代表 川上敦史様

に、齋藤教育長より委嘱状を交付いたします。

それでは、齋藤教育長お願いいたします。

(齋藤教育長)

委嘱状。川上 敦史 様。八戸市総合教育センター運営協議会委員を委嘱します。期間令和6年11月5日から令和7年3月31日までとします。令和6年11月5日。八戸市教育委員会 教育長 齋藤 信哉。よろしく申し上げます。

(事務局：松橋)

ありがとうございました。皆様、ご着席ください。

川上様以外の委員の皆様には、委嘱状をあらかじめ卓上に配布させていただいておりますのでご確認ください。

では、続きまして、教育長 齋藤信哉が、皆様にご挨拶を申し上げます。

(齋藤教育長)

まずはですね、本協議会の委員の方、委嘱ご快諾いただき、そして連休明けのご多用の中出席いただきまして本当にありがとうございます。

この10月、そしてこれから11月ですが、学校現場の方は文化的な行事、それから連休はスポーツ活動が様々ありました。いずれにしても先生方に大変ご苦勞をおかけしてるなあと思うながら過ごして参りました。

昨日はちょうど新井田川沿いで、中学校の駅伝大会がありました。多くの保護者、地域の方々、そして先生方が大会運営をされて、大変ご苦勞だったなあというふうに拝見しております。

この時期になりますと、私いつも思い出すことがあります。ちょうど5年くらい前になりますか。世界各地で新型コロナウイルス感染症が蔓延し始めたのもちょうど今頃だったなと思います。そして、年を明けて2月、当時の内閣総理大臣が急遽全国の公立の小中学校を休校としました。皆さんもご記憶にあると思います。今年度の集大成をしなければならないそういった時期に休校となって、さあこれからどうしたものかとそう悩んだことを覚えております。その後、三年間余りにわたって学校現場でも様々なことが制限されました。本来対面で行うべき授業、あるいは給食活動、そういったものも制限されました。それから、各学校の行事等も中止を余儀なくされたような、そういった行事もありました。そういう状況が続いて、先生方にも、もちろん子どもたちにも、大変大きな影響を与えたなど、そう思っております。

昨年5月に、新型コロナウイルス感染症が5類移行となって、我々の生活もようやく従来どお

りの生活状況を取り戻しつつあるなどそう思っておりましたけれども。ただ一方で教育界は今大きな改革の真ただ中ということで、先生方に大変ご苦勞をおかけしているなどというふうに思っております。ご承知のとおり1人1台端末を活用した授業づくり、それから校務DXとかですね。さらには、学校における働き方改革などです。様々な課題が山積しております。そういった状況の中で、当総合教育センターが担うべき業務というのが、ますます大事になるのではないかなとそう思っておりました。

当センターの、各研修講座では、二つ心がけていることがあります。まず1点目は、全国区でやはり先進的な取組をいち早く先生方のもとに届けると、それがまず第一の大きな目的です。もう一点は、八戸市それから本県青森県の教育課題を踏まえて、いかにしてそれを解決していくか、そういったものを先生方に提案していくと。その二つの目的でもって、当センターが運営されているとそう思っております。ただまだまだ、不十分な面も多々あろうかと思えます。どうぞ委員の皆様からは忌憚のないご意見、そしてご感想をいただいて、来年度の当センターの運営の方に生かして参りたいとそう考えておりますので、よろしく願いたいと思えます。

早いもので、今年もあと二ヶ月切りました。各学校でも、それぞれよろしく願いたいと、併せてお願いを申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。どうぞ今日はよろしく願いたいします。

(事務局：松橋)

ありがとうございました。

本日の協議では、事前にお送りさせていただいた「協議会資料」と卓上に配布しております「開催要項等の資料」をもとに、5つの事業について、皆様からご意見を頂戴して参ります。

それでは、開催要項等の資料の5ページ「八戸市総合教育センター運営協議会規則」をご覧ください。

中ほど第3条に「協議会は、会長が招集する。ただし、新たに委員の委嘱が行われた後、最初に招集すべき協議会の会長の職務は、教育長が行う」とありますので、会長選任までの議長を教育長が行います。

また、同じく第3条第2項に「協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議をひらくことができない」とあります。本日は、委員の皆様が半数以上が出席しておりますので、会議が成立しておりますことを報告いたします。

それでは、齋藤教育長、進行をよろしくお願いいたします。

(齋藤教育長)

それでは座ったままで進めさせていただきます。協議会規則に従いまして、会長選任までの議長を務めさせていただきます。

それでは、協議会の会長及び副会長の選任に入らせていただきます。

開催要項等の資料の、八戸市総合教育センター運営協議会規則第2条に、「協議会には会長及び副会長各1名を置く。会長及び副会長は、委員の互選によって定める」とあります。

会長・副会長に自薦される方ならびに推薦がある方は、挙手をお願いいたします。いないでしょうか。

それでは、ないようなので事務局案でもよろしいでしょうか。では、事務局案をお願いいたします。

(事務局：佐藤所長)

当センター所長の佐藤と申します。今日はどうぞよろしくをお願いいたします。

事務局案といたしまして、協議会の会長は、八戸市中学校教育研究会代表 蔦川校長先生、副会長は、八戸市小学校教育研究会代表 島浦校長先生をお願いしたいと思います。

以上です。

(齋藤教育長)

ただいまの事務局案を承認いただける方は、拍手をお願いします。

(委員) 拍手

(齋藤教育長)

ありがとうございました。

それでは会長・副会長の選任が終わりましたので、私の役目を、ここで終わらせていただきます。どうぞ委員の皆様にはこの後の審議をよろしくをお願いいたします。

(事務局：松橋)

それではここで、齋藤教育長は公務のため退席いたします。

(齋藤教育長)

それではどうぞよろしくをお願いします。(退席)

(事務局：松橋)

それでは、ここから協議に入ります。ここからの進行は、センター運営協議会規則に従い

まして、会長の蔦川校長先生にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

(蔦川会長)

本日、議長を務めます長者中学校校長の蔦川でございます。議事進行に先立って、一言ご挨拶いたします。

先ほど教育長さんのご挨拶にもありましたけれども、先月10月ですが、小学校では学習発表会、それから中学校では文化祭というふうなことで、文化的な行事が開催されまして、ほぼ各学校で大きな行事が一通り終えたところではないのかなというふうに思っております。11月に入りまして、いよいよ後半戦に入っていきますけれども、今度は普段の学校生活の充実ってことに目を向けていかなきゃならないのかなあというふうに考えております。学校生活の充実と考えたときに、一番大事になってくるのは、おそらく授業の充実だと思っております。本校でも、授業の充実に向けて校内研等でいろいろ研究したり、協議したりしてきておりますけれども、なかなか思うような成果を得ることができないでおります。先月の31日、本校でも指導課・センター訪問がありまして、センターの先生方のご指導の下、いろいろと研究することができておりました。本当に我々がこれから魅力ある授業づくりをしていく際には、センターの先生方のご指導、ご支援が必要なところなのかなというふうに強く感じているところでございます。

本日は、センターの方から5つの事業についてご説明があって、それについての質疑応答ということですので、貴重な有意義な時間となるように、委員の方々の質問等、有意義な意見等いただければありがたいなと思っております。それでは、皆様方のご支援を得て、円滑な進行の方に努めて参りたいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、本日の進行について早速確認いたします。

センターの5つの事業について、それぞれ項目ごとに協議いたします。

まず事務局より事業報告を5分程度行い、その後、質疑応答を行います。

本日の協議会では、委員の皆様全員からご意見を頂戴したいなと思っておりますので、どうぞ協力の方をお願いしたいと思います。

なお、協議終了は16時20分、1時間5分後を予定しておりますので、どうぞ皆様方忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

それでは早速協議の方をはじめたいと思います。

まず、「教職員研修事業」について、事務局より報告願います。お願いします。

(事務局：佐々木) 説明

(蔦川会長)

報告ありがとうございました。それでは、ただいまの教職員研修事業の報告について委員の皆さんの方からご意見ご質問等何かございませんでしょうか。

(三角委員)

ご説明ありがとうございました。それから研修講座本当にいっぱいお世話になっておりまして、ありがとうございます。研修に出た先生方から聞いても、とても満足して帰ってきています。報告等見てもとても勉強になったということでありがたいなあと思っています。もうひとつは中核市になってからの取組で青森市に行かなくてもいい講座が受けられるというのは本当にとってもいいことだなあと思っています。今日出張講座もあるということで、これから我々も活用しなければならぬなあというところと、先ほど課題にもあったオンライン研修的なものは実際に行われているものかどうかというのをお聞きしてみたいなあと思っておりました。

(鳶川会長)

では、オンライン研修についてお願いします。

(事務局：佐々木)

お答え申し上げます。

オンライン研修ですが、今年度は実施した講座はなく、すべて集合型で行っております。ただ先生方の働き方という点から、やはりハイブリット型の研修という要望も上がってきておりますので、検討していかなければいけないとセンターでも考えております。物理的にオンライン研修を開催することは可能なのですが、集合型の研修の良さというのがありますし、講座の内容や講師の都合を含めて柔軟に対応していくことが大事だと思っておりますので、ご意見を受けて今後検討して参りたいと思います。ありがとうございます。

(三角委員)

ありがとうございました。

オンラインだと参加しやすいだろうなあというのはあるのですが、実際集まってやる方が直接お聞きできたり、直に聞いたりできるのはいいことだと思っているのと、連絡事項的なものをオンラインとかでやってくださっている、これは講座ではないかもしれないですが、それはありがたいと思っております。ありがとうございます。

(鳶川会長)

他にご意見ご質問等何かございませんでしょうか。

(高畑委員)

研修の方の、市民公開研修についてお聞きしたかったのですが、うちの先生でこちらに参加した先生がいたのですが、参加したところ周りがみんな小学生ばかりだったとか、行ったら自分が入るにはちょっとという研修があったようで、また開催時間が夕方の6時からだったり勤務時間外の研修が多くてちょっとこれはなあと言っている先生方がいらっしゃったんですが、これに参加している先生方は結構多かったですか。

(事務局：佐々木)

お答え申し上げます。

参加している先生方はいらっしゃいます。ただ勤務時間外というところはあるので、その点についてはご意見いただいて今後検討事項として考えていきたいと思っております。ありがとうございます。

(高畑委員)

もしかしたら今後の流れでなくなっていくかもしれない感じですか。

(事務局：佐々木)

なくなっていくというよりは、参加しやすい講座を運営していきたいと思っておりますので、開催時間とか曜日など検討していきたいと思っております。

(高畑委員)

ありがとうございます。

(葛川会長)

ありがとうございました。

他に何かご意見ご質問等ございませんでしょうか。

(川上委員)

いつもありがとうございます。一般研修の中にメンタルヘルス研修講座というのがあるのですが、これは受講者自身のメンタルヘルスを整えていくというような講座でよろしいでしょうか。

(事務局：佐々木)

受講者自身のメンタルヘルスに気付いてどのように対応していくかということを講師の先生に教えていただく講座となっております。

(川上委員)

ありがとうございます。

(蔦川会長)

あと何かご意見ご質問等ございますでしょうか。

ないようですので、次の「教科等研究委員制度」についてご報告願います。

(事務局：石井) 説明

(蔦川会長)

ありがとうございました。それでは教科等研究委員制度の概要について説明がありました
が、委員の皆様からご意見ご質問等ございませんでしょうか。

(伊崎委員)

質問いいですか。白山台中学校の伊崎です。現代的な諸課題研究分野と自由課題研究分野
が、今年度設定なし応募なし、これは具体的にどういう感じに、流れ的になっているのか。
もしあるとしたらどういう流れで設定されるのか教えていただければ。

(事務局：石井)

お答え申し上げます。

まず1点目、現代的な諸課題研究分野については決して課題がないというわけではなくて、
課題はあるのですが、近年教員の欠員であったり学校事情を取り巻く難しい事情があったり
しまして、なかなか先生方の負担を避けられないということがあります。負担軽減のために
今年度は確かな学力研究分野を重点的に研究するという意味で設定しなかったという形にな
っております。

具体的な課題としては昨年度行った校務DXを継続して行っていったり、働き方改革につ
ながるようなものであったり、デジタル教科書、そちらの活用、確かな学力研究分野とも関
係するとは思いますが、関係するようなものは今後も研究が必要だと考えております。

自由課題研究分野につきましては、春先に文書で先生方に今年度の応募はございませんか
ということで周知して、それに取組む先生方が今年度はいらっしゃらなかったという形にな
ってございました。

一番近い例ですと音楽の大会に向けて研究をされたということもありましたので、これは必要に応じて研究を進めていければと考えております。以上です。

(伊崎委員)

ありがとうございます。学校の事情を配慮していただきまして、大変ありがとうございます。確かに今何人か抜かれると学校大変だというのが現状、現実なので、それも踏まえてということだったので、ありがたいなあと思っていましたし、ただ重要なことですので、だんだん先生がきちんと配置されるようになったら、また復活させていただければと思います。あともう一点です。私理科なのですが、理科だからなのかもしれないのですが、せっかく教科等研究委員の方が研究している内容が中教研の部会との連携が、理科部会の方ではせっかくやったこと、どういうことをやっていたのか理科部会の方では見えていなかったのですが、他の例えば国語、社会、算数、数学などの方で中教研と連携しているところがあったら教えていただければ参考にしていきたいと思っていたのですが。

(事務局：石井)

具体的に研究会の中での発表とかそこは把握していなかったのですが、指導主事で誰か知っている人いますか。中教研、数学が行っていたということですね。

(事務局：松橋)

以前、今も継続しているかどうか分からないのですが、研究委員が終わるとその次の年にその研究会の方で発表しているという年が続いた時はございました。

(伊崎委員)

中教研の方でもいろいろ、発表があたる先生に負担がかかるので、せっかくここでいい研究をしているのであれば、中教研の方でそれを発表に変えれば、先生の、実践発表とかあるんですよね、割り当てがあたっていて必ずやらなきゃいけなければ先生方が必ず研究するというのがあるので、もしここで研究できたのを中教研でも発表できたら、今見ていていいかなと感じたのですが。ありがとうございます。

(蔦川会長)

他にご意見ご質問等ございませんでしょうか。

(島浦委員)

副会長という立場ですが、会長がずっと進めているのでこのままでは最後まで言葉を発せ

ずに終わるかもしれませんので。さっきのことに関連してお話とお願いをします。

次の教育の情報化にもかかわるところだと思いますが、本校でも ICT の研修というのはすごく重要な課題だと思っております。今年度 ICT の活用に変化している教員が来たら教師間の中でそれを使う方が随分と一気に増えました。なのでやっぱり得意な職員を増やすとか、学校現場の中では得意な教員、使える教員を増やすというのはとても大事なことだと思っています。やっぱり講座に行って講師の話の聞くとか、あるいは業者が学校に支援に来るということではなくて、学校の中でそういう人が増えるというのは大事かなと思っています。そうすると、教科等研究委員のところで先ほども伊崎先生から現代的な諸課題の部分のお話が出ました。そういうところで視聴覚分野とか DX の部分では長年こういう研究をしてきたと思うんですけども、アプリなどは日進月歩で毎年違うものが出てきていろいろな使い方をするので、例えばですけど二年継続ではなくて一年単位であるアプリを使った事例などを授業で活用して、それをお話するとかそういうのもいいのかなあという感じもしています。とにかく学校の中で使える教員を増やしたいなあと思っています。以上です。

(事務局：石井)

今の件について一年研究でもいいのではないかとということで、先ほどもお話したように人が足りないという事情も踏まえて、二年縛りではなくて事情によっては一年でもよしということで今年から柔軟に研究を進められるように対応しておりましたので、今伺ったご意見も来年度以降継続して進めていきたいと考えております。

(島浦委員)

ありがとうございます

(三角委員)

すみません何回も。本校からも研究委員お世話になっておりました。いっぱいサポートしていただいて。それから本校の先生方も周知などと難しいところはあるのですが、学校内で結構それを使ったりしてきてるなと思っています。負担感というところが心配で、ただこう見ると二年目も時間短縮や書き方、オンラインなど様々工夫してくださっていてありがたいと思っています。研究部会が今は5つということですが、少なくともいいのではないかと私は思っていて、担当の先生方も見るとお二人くらいずつついて見ていただけていますし、もしかしら発表とかリハーサルとか今までたくさんやってきたものも短い時間で済むならそれでいいのではないかと感じてしまったりしておりましたので、先生方の負担軽減を図りながらやってくださっているのはとてもありがたいなと思っていました。感想でした。

(事務局：石井)

ありがとうございます。

(鳶川会長)

他に何かございませんでしょうか。

司会という立場ですが、少し気になったというか疑問を質問させていただきたいと思っております。今名簿を見ましたら社会科と算数のところは他の教科と違って中学校の先生方が入っていないなあと。これは先ほどからいろいろお話があったと思うのですが、現場が非常に忙しくてなかなか出せないという学校もあるのかなあと思っているのですが、ここに入っていない理由はどのようなものでしょうか。

(事務局：石井)

お答えします。

当初の計画ではやっぱり小中連携してというのを考えていたのですが、今年度教科書採択の事業もありましていろいろな関係で中学校の先生方の多忙感解消のため今年は思い切って小学校だけで研究してみようという形でこのような取組となっていました。先ほども申し上げましたが、一年研究ということもありなので、そう考えると来年は小中でということも考えられますし、その年度年度で計画を立てて進めていきたいと考えております。以上です。

(鳶川会長)

ありがとうございます。

もう一つ追加なのですが、小中一緒にとすることでメリットの一端をお話いただいたと思うのですが、他に小学校中学校一緒にやることのメリット、それから逆にここはなかなか上手いかないな、一緒にやっていることで上手いっていないところ、デメリットまではいかないと思うのですが、何かあったらそのあたりも教えてもらえますか。

(事務局：石井)

メリットとしては、お互いの授業を見合うということで、授業の組立て方、そのあたりが校種が違うということで参考になる点もあるのかなと。発達の段階、場合によっては教材等の系統性も踏まえて、そのあたりが見えてくるというのがメリットかなと考えております。

デメリットですが、いろいろと調整するのが大変なのでしょうか。実際に研究していて、デメリットを感じている指導主事はいますか。実際今研究していて、と伺いたいところですが小学校だけですしね。困っている人いますか。お願いします。

(事務局：小向)

私、自分が教科等研究委員で小中合同でやっていたこともありますし、今年度は算数、数学の方を担当しております。小学校だけで編成しております。

デメリットというのは特に感じませんが、小学校だけで組んだほうが日程の調整をしやすい、様々行事等のバランスって小学校中学校違いますので、日程を組みやすいとか、話し合いをしやすいという、中学校と組むデメリットではなく、小学校だけでやった場合のメリットっていうのは、もしかしたら比較した上ではあるのかもしれませんが。所感です。

(蔦川会長)

それでは、時間もございますので次に「教育の情報化推進事業・GIGA スクール構想推進事業」について報告願います。

(事務局：小向) 説明

(蔦川会長)

ありがとうございました。それではただいまの説明について委員の皆様からご意見ご質問等ございませんでしょうか。

(加藤委員)

総合的な学習の時間などで調べ学習をする機会が多いのですが、職場体験に関して職種別に調べたいとなったときに、すぐ制限がかかってしまって開けないというケースがたびたびありまして、それを解消するために図書室から関連する本を同時に用意してどちらでも対応できるようにというふうにしたときもあるのですが、そのあたりの制限がもう少し緩和されるということはあるでしょうか。

(事務局：小向)

今の質問についてお答え申し上げます。

1人1台端末が導入された際にフィルタリングを設定しておりますけれども、基本的にはカテゴリーブロックといたしまして、カテゴリーで教育に必要なものはブロックしているのですが、若干強めにかけております。学校から解除したいサイトがあった場合には、そのサイト名やURLを教えていただくことで個別の解除という形で対応しております。ただし、今もご質問があったように、それが各学校に周知されていないという状況もございますので、今後フィルタリングを解除してもらいたいものにつきましていつでもご連絡くださいと、こちらからお知らせして参りたいと思います。ありがとうございます。

可能であれば授業の前に一度先生がそのサイトにアクセスしてみて、フィルタリングの状況を確認していただければと思います。お願いします。

(加藤委員)

ありがとうございます。

(鳶川会長)

他ご意見ご質問等ございませんでしょうか。

(淡路委員)

田面木小学校の淡路です。学校 DX の推進に向けて Govatt でも専用のページというか、アクセスしやすいページを作っていただき管理職だけではなくどの先生方もすぐに見られて個々の能力は上がってきていると思います。感謝申し上げます。

また先ほどの情報の中で、3月の調査と9月のアンケート、若干違いがみられるといったことも、こういった情報を教えていただくことでちょっとした危機感を感じながらやっぱりどんどん使わないといけないという意識をもつことができると思います。このような情報の提供もありがとうございます。

ここからは半分愚痴になりますが、先ほど学びの高度化というのがありましたが、学びの高度化、自分としては高速化も感じております。ついこの間話していた話題が過去の話題になっているというようなこともあり、また持ち帰りについては、あまり持ち帰っていないとか、それから学校、学級間格差もあると。本校の実態を言うと、あまり活用していない学級ほど不適切な使用をしているというような実態があります。きちんと使わせているところは情報モラルの指導も進んでいるのであまりそういうトラブルも起きないと感じております。そこでヘルプを求められても私は何の手助けもできないのでやるなとしか言えないのですが、そういった情報もこれからタイムリーに教えていただければ、校内の方で私以外の得意な先生に教えてもらいながら進めていって、次回はもう少し違った観点でお話できればと思っております。どうもありがとうございました。

(事務局：小向)

ありがとうございます。今のご意見ご感想を承って、おっしゃるとおり学びの高度化、高速化は進んでいると思います。また持ち帰りにつきましても、たしかに学校の事情もあって様々状況の違いがあると感じております。端末が授業以外に使う娯楽のツールではなくて、学びに有効なツールだということを理解、実感してもらえるように、我々もいろいろな先生方が使いやすい情報をたくさんこちらから出すことが今の淡路先生がおっしゃった先生方

に広げる一つの手立てと感じております。

また生徒指導問題に関しても、持ち帰る目的などを私たちの方から様々示して、学校と一緒に八戸市の学校 DX について進めていければと思っておりますので、今後ともご意見よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

(淡路委員)

ありがとうございました。

(蔦川会長)

他何かございますでしょうか。

(三角委員)

さっきまで座ったまま喋ってしましてすみません。まずお礼です。パソコンを新しく使う転入生が来た、ちょっと調子が悪い、デジタル教科書の調子が悪い、tetoru の、と随時電話をするのですが、すぐ対応してくださって早い対応本当にありがとうございます。まずお礼です。

もう一つ、これはもしかしてセンターの事業とは違うかもしれないのですが、今学校のパソコン室をどうしたらいいかと迷いがあります。机とかそういうものについてはそれぞれで使えるのですが、例えばケース、結構置く場所が苦しいというところとか。それからサーバーの場所も、昔のパソコン室にサーバーがあるために、危険な場所といえは変ですけど、離れた場所にあるので、これから先もしかしたら今のパソコン室のこととかというの、センターじゃないところかもしれないのですが、そういったところも考えていかなければならないと思ったりしてましたので、今ではないのですがこれからいろいろ考えていただければと思っております。以上です。

(事務局：小向)

ありがとうございます。私どものところにも全国のパソコン室の転用、活用について様々な事例が耳に入ってきております。まだ八戸のパソコン室の活用については議論が進んでおりませんが、今後必要なことだと思いますので、所内でも話し合っって参りたいと思います。ありがとうございます。

(本井委員)

図南小学校の本井と申します。本日は大変申し訳ありませんでした。時間を勘違いしていたのと、今日4人先生がいなくて補欠で3時まで入らなければいけなくて間に合いませんで

した。大変申し訳ありませんでした。

小向先生、説明ありがとうございます。いろいろと教科書の登録ですとかご苦労されたと思います。おかげさまで先生方がデジタル教科書の方をどんどん活用しておりますので、先生のおかげで今先生方も活用していますし、子どもたちも自分たちで学んだり QR コードから動画を見たりということで活用しつつありますので、これからも教務主任としても進めていきたいと思います。本当にありがとうございます。

ここで話をすることでなければそう言っていただければと思うのですが、教務主任として、先生方の仕事をしているところで確認させていただければと思うことがいくつかあるのでお願いいたします。

まず一つ目です。今の1人1台端末が配布されて5年以上経つと思うのですが、だんだん落としたとか何か衝撃が加わる不具合ではなくて経年による不具合もいくつか見受けられています。本校でも毎日ではないのですが、月に1台2台という感じで不具合が出ているので、これから端末自体を更新するとか、端末自体のリフレッシュとかというのが計画されているのかということをお伺いしたいのが一つ目。

二つ目が、私は根っからの一太郎使いでして、一太郎でずっとやっているのですが、今後マイクロソフト teams でペーパーレスの職員会議を行おうと思っているのですが、一太郎はそのまま開けないです。一度ダウンロードに入って開くという形になるのですが、今後一太郎はなくなっていくのかということももしあれば。というのが、話がそれるかもしれないのですが、事務の方々が今事務必携を直していらっしゃるんですけども古いデータが一太郎だったりして、それをわざわざワードに変えてとか、PDF にしてからワードにするとかいう作業をしながら更新を図っているそうです。そのあたりの文書作成のソフトの動きを、もしあれば教えていただきたい。

三つ目として、先ほどお話のあった活用なんですが、夏休みに本校は持ち帰らせませんでした。持ち帰らない学年があったということです。理由としては、自由研究とかだと調べ学習には活用できるのですが、先生方は紙とデジタルのハイブリットの中でやっているもので、どうしても今まで使っている方が指導しやすいというのがありますので、だんだんデジタルの方で宿題などもさせていくというような、もし話があるのであればお伺いできればと思っていました。

そして最後です。今コンピュータ室の使い方というのがあるのですが、保管庫が基本、どこの学校も前のコンピュータ室だと思うのですが、それを移動する手続きをする場合、たしか申請しなければいけなかったような気がするのですが、今後も申請しなければいけないのかということと、その理由をもし聞かせていただくと非常にありがたいかと。実際本校はコの字型の校舎でして、今どうなっているかということと保管庫の反対側の校舎に4年生5年生6年生の教室があるので取りにいかなければならない、移動させたいのだけれど手続きが、

以前南郷のときにやたら時間がかかるというか手間がかかるという話も聞いていたので、もしここで伺えるのでしたらお願いいたします。長くなってすみません。よろしくお願い致します。

(事務局：小向)

お答え申し上げます。

四点あったと認識しております。まず1点目ですが、1人1台端末の今後の更新の予定についてということで、現在のところ私どもは来年7年度と8年度の二ヶ年による更新を予定しております。今どこの学校にいつというところは最終調整を行っておりますので、今後見通しが立ちましたら校長会を通して各校に連絡いたします。

2点目の一太郎の件に関しましては、一太郎どうこうというよりは、今後の校務DXを進めていくためにはある程度ソフトの統一化は必要なものと考えて我々も事業を進めております。具体的に話が上がった事務必携につきましては、今年度Govattのほうで一太郎の様式だったものをすべてワードに作り変えていただいて掲載しているところであります。ただずっと使い続けていた方には使いにくい状況が続いていると思うので大変ご迷惑をおかけしておりますが、現状のところは少しずつ、今年度中学校を含めご負担をおかけしてしまったのですが、今後うまい具合に情報共有しながら進めて参りたいと思っておりますので、いつでも質問いただければありがたいと思っております。

持ち帰りにつきましては、おっしゃったように、調べ学習をする学年や自由研究をする学年は使い方についてイメージがしやすいかと思います。一方で、何に使っていいのかわからない状態で持ち帰ると、放置していたり故障の原因になったり不適切な使用の原因になったりということが考えられます。最近私が訪問の際にお答えしたのは、今後、情報活用能力というのは言語能力と一緒に学習の基盤となる能力ですので、CBT等の学力テストや受験が増えてくる時代にあってはタイピングそのものも必要な能力です。ですので、授業時間に育てられない部分に関してはそういったものも一ついいと思いますよとお話はさせていただきました。デジタルドリルも今年度eライブラリーの公費負担はなくなりましたが、学校ごとに工夫をしてくださっていて、今はワークについてきた無料のドリルもけっこういいものが入っていると聞きますし、様々な業者が試験的にぜひ無料でお試しいただきたいという声を上げておりますので、そういったことを活用しながら持ち帰りの際の目的を一緒に考えていければと思っております。こちらからも情報を出していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

最後の保管庫につきましては、確かにこちらに声をかけていただいて業者が外しに行くということを現在行っております。理由といたしましては、保管庫が入った際に契約上、建築付帯物として充電保管庫を契約しております。そうなりますと壁固着というのが基本的な要

件になっています。大変今ご迷惑をおかけしていると思うのですが、当初の契約でいきま
すとその状態というのがやむを得ない状況となっております。ですので、できるだけ早く連絡を
いただいたら即時対応したいと今は考えておりますけれども、今後について時代も変わってき
てますので、そこについては所内でも情報を聞いて、いい形が進められればと思っております。
以上四点でした。

(本井委員)

ありがとうございました。

(蔦川会長)

時間の方も押してきましたので、どんどん進めさせていただきたいと思います。では、「国
際理解教育・英語教育推進事業に」について報告をお願いいたします。

(事務局：西村) 説明

(蔦川会長)

ありがとうございました。それではただいまの説明について委員の皆様からご意見ご質問
等ございませんでしょうか。

(千葉委員)

白銀中学校の千葉です。感想になりますが、ここにも書いてあるのですが、ここ数年で出
会った ALT の方々の意識が、この JET プログラムが始まった時よりもとても向上している
なあと感じます。月例の研修会の成果だと思っております。本当にありがとうございます。
市直接雇用の ALT2 名の方々、本当に力のある方々なので様々な面で活用できると思
います。継続して下さったらいいなと思っております。以上です。

(蔦川会長)

ありがとうございます。他ございませんでしょうか。それでは最後に「児童科学館事業」
について報告をお願いいたします。

(事務局：青木) 説明

(蔦川会長)

それではただいまの説明について何かご意見ご質問等ございませんでしょうか。

(岩織委員)

リニューアルオープンということですので私も行ってみたいなと思ってお話を聞かせていただきました。よくチラシとかが学校に配布されて子どもたちと一緒に見て面白そうだねと話をするのですが、写真を見ていると小学生が写っているイメージが私の中にはあって、中学生がどれくらい参加されているのかわかればお聞きしたいと思ったのですが。

(事務局：青木)

今のご質問にお答え申し上げます。

昨年度プラネタリウムの団体利用につきましては、中学校の団体での利用はありませんでした。しかしながら、土曜日、日曜日等、個人で利用する子どもたちはいるというふうに科学館のほうから伺っております。

(岩織委員)

それも踏まえて声がけて、足を運んでねというふうに話をしたいと思います。ありがとうございます。

(事務局：青木)

よろしく願いいたします。

(蔦川会長)

あとございませんでしょうか。

時間になってしまったのですが、全体を通してセンターの運営に関しまして何かご感想ご意見等あればお願いしたいと思っております。

(増田委員)

勇気がなくてなかなか手をあげられなかったのですが、細かいことをいいですか。

まず研修のところの一般研修のところを見たときに、どなたか指導主事の先生にも話をしたことがあるのですが、指導力アップということで授業力アップというような名前ですっきりしている中で、鑑賞力アップ研修講座、一番最初に映像で見たのですが、去年出たのですがファシリテーターの研修であって、これだと美術の先生の研修とか生徒が鑑賞力をアップさせるための研修、なにか違うなあ、いろんな教科の先生が子どもたちの意見を吸い上げる一つの材料が絵だったり鑑賞力だったりするだけだったので、ちょっと名前を変えた方が、なんとなくここだけいろいろな先生たちから授業力アップみたいなことで進んでいる中で名前

がちよっととつつきにくいという感じがしていたので、今後の学びの力を引き出すという部分ではとてもいい研修だと思っていたので、名前を変えてリニューアルしていっぱい先生方が来れるといいなあと。感想的なものを含めてです。

あと視聴覚担当で来ているのですが、先ほどたくさんあったので。タイピングについて。中教研の視聴覚の方では話があったと思って。技術の時間にやっているのか、小学校からやっているのか、子どもたちはフリックはとても早いが端末はフリックではない、でも一二三先生からは、喋れば全部テキストにしてくれるという研修を受けました。本当にそれでいいのかというのは、話合いの中で出たこともあります。小中の中でどこかで継続的にタイピングを学ぶということは誰も言ってないというところ。そこが今後必要なんじゃないかということで、小学校はやっていますか、ということ。もっと細かいことをいうと Govatt のフォーラムのところが一度うちも変なことになったのですが、移動する人たちがいる。危機管理に今も何か、特活か特別支援か何か入っています、一番最初のところに来るような。あそこの Govatt の表示の方式を、1年くらい経ってきたのでリニューアルしていかないとみんなが間違えやすいと感じています。

あとは生成 AI というところには、このセンターでどれだけ研修講座とか開いていくのか。どこまでできてどこまで先生方は活用した方が DX につながるのかと。最近是指導案を作るとして作ってくれるところもあったりして。それを見ながら自分のところの生徒に対して合わせて書き直していく。そういうところの使い方というものを示していただけると、すごくみんながこれでいいんだというところで進めればいいのかという提案の部分と。雑談みたいな話ですみません。

最後に、児童科学館の関係で私が来ているのかと思います。児童科学館で中学校の先生的には児童なんだという感じで受け止めてしまっていて、材料的にはあまりそこは行くところではなく、小学生が行くところで。プラネタリウムは家族で行けますよね、でも授業の中で行事でプラネタリウムを見にいこうというのはなかなかならないなあとというところが。名前を変えろというわけではないのですが、なんとなくもしかしたら小学校視聴覚研究会から来た方がよかったとかちよっと思いながら聞いていました。せっかくある建物だしいろんな機材もあるので上手に使いたいと思うのですが、視聴覚研究会としてはなかなかそこを上手くできていないのが現状です。あとでいろいろと話をしながらうまく使える方法を探っていきたいと思います。だらだらとすみません。以上です。

(蔦川会長)

時間の方もだいぶ過ぎてしまいましたので、多岐にわたる質問でしたがお答えできる範囲でお願いいたします。

(事務局：小向)

冒頭二点につきましては私から、生成 AI については乙山からご回答いたします。

タイピングにつきましては先ほども申しましたとおり、今後必須になってくると思います。おそらく DX 戦略アドバイザーが申した音声言語による入力というのは、低学年であっても端末の活用ができる一つのツールとして音声入力の推奨をしているものと思われます。また、上の学年であっても様々な事情を抱えているお子さんというのは当然いるわけですので、様々な入力方法の一つとして認識しています。タイピングは小学校で必ずこれをやりなさいというような公式なツールは現在のところ準備しておりませんが、様々インターネット上に無料のツールがあふれておりますので、そういったものをお使いいただいているというのが現状でございます。

2 点目の Govatt のフォーラムについては、おっしゃるとおりだいたい皆さんもご承知かと思いますが、煩雑というか、昔からのデータが大量に残っている状態で昨年の Govatt を入れ替え、機能を拡充した時に少し整理を図りました。そして現在は、かつてはいじれなかったフォルダの場所や削除を教職員の皆様ができるような仕様にしておりますので、順番を変えたとか、これはもう担当がいなくなったので研究会として責任をもって削除をしたいというのはできるようになっています。今後、センターへの連絡を含めまして先生方と情報共有しながら、その中身を少し使いやすいようにしていきたいと思っております。ご意見ありがとうございます。

生成 AI についてお願いします。

(事務局：乙山)

生成 AI に関してですが、来年度の教育情報セキュリティポリシーの改訂とあわせて文部科学省から示されているガイドラインに沿って我々の方でも今後研究していきたいと思っておりますので、いろいろご意見ありましたら頂戴したいと思います。よろしく申し上げます。ありがとうございました。

(事務局：佐々木)

研修講座についてです。貴重なご意見ありがとうございます。やはり参加した先生だからこそ感じるということというのは、私たちにとっても貴重なので、センターの方でも検討して参りたいと思います。ファシリテーション力を前面に出そうかなという考えもあったのですが、美術の鑑賞を軸に講義される先生なので、ファシリテーションを前面に出して、来たらあれ？美術だったのというようなところがあると、受講者の方にとまどいがあるかなあということと、講座名はこうしました。内容のところはファシリテーターとしての手法を学びと入れていたのですが、もっとわかりやすくするように検討して参りたいと思います。ありがとうございます。

ございます。

(事務局：青木)

児童科学館についてですが、昨年度基本構想が策定されまして、その中では八戸独自のSTEAM教育という部分と天文教育の拠点となる施設ということで、小中学生もちろんですが大人の方も、要は家族で楽しめるような施設ということで現在様々な計画を進めておりますので、リニューアルした際には皆様ぜひ足を運んでいただければと思います。以上です。

(蔦川会長)

それでは、以上で委員の皆様からのご意見ご質問等の時間は終わりたいと思います。司会の不手際から時間の方が大変オーバーしてしまって、皆様に大変ご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。本日は委員の皆様方から積極的な発言で本協議を深めることができました。それから、センターの先生方には丁寧でわかりやすく説明していただき受け答え等も大変ありがとうございました。おかげさまで有意義な時間を過ごすことができたのかなあと思っております。では以上で協議を終了いたします。皆様ご協力ありがとうございました。では進行を事務局にお返しいたします。

(事務局：松橋)

ありがとうございました。

会長を務めてくださいました蔦川校長先生、副会長を務めてくださいました島浦校長先生、どうもありがとうございました。

では最後に、当センターの佐藤所長からお礼の言葉を申し述べます。

(佐藤所長)

今日は本当にお忙しいところありがとうございました。ご報告いたしました5つの事業ですが、どれも学校の授業づくりですとか、学校の教育活動に直結するというか、学校に近い存在、まあそういうところを目指して我々は取り組んでいるつもりです。これからもいろいろご意見をいただいて今年度後半、それから来年度の事業に反映していきたいと思います。今日は蔦川先生はじめ皆様お忙しいところいろいろご意見いただいてありがとうございました。どうぞこれからもセンターの事業についていろいろご意見いただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

(事務局：松橋)

それでは以上をもちまして、本日の全日程終了となります。大変お疲れさまでした。ありがとうございました。